

学生自治会のこれまでの活動

学生自治会が2012年度後期自治委員会総会から現在まで行ってきた活動を紹介します

【要望書に関する活動】

昨年、中百舌鳥・りんくうキャンパスの学生を対象とした大学に対する意見や要望を募るアンケートを行い、その結果を元に要望書案を作成しました。以下はその後の要望書に関する活動です。

(1) 要望書説明会を行いました。

要望書に関する説明会を大学の各部局の担当者などを対象に実施し、要望・意見をまとめた意見集を大学執行部に提出しました。

(2) 要望書公開回答の実施を大学に要請しました。

大学と学生自治会の打ち合わせの結果、今年度は学生自治会と大学担当者との話し合いで、回答を行うということになりました。

(3) 生活協同組合に対する要望・意見を生活協同組合へ提出しました。

生活協同組合に対しての学生の意見をまとめ、生活協同組合に提出しました。

【情報宣伝・情報収集に関する活動】

学生自治会は、『NASCA』やポスターなどの情報宣伝手段を活用し、学生生活に関わる情報の宣伝を行ってきました。また、学生自治会は意見箱や各団体との話し合いなどを通じて情報収集を行い、学生の意見や大学に関する情報を収集しました。

【りんくうキャンパスに関する活動】

りんくうキャンパスで活動する学生の大学や学生自治会に対する意見を集めるため、『NASCA』やポスターを通じての情報宣伝、意見箱を通しての情報収集を行ってきました。

【学生団体連絡会議】

学生自治会は月に一度、学生団体連絡会議を行い以下のことを実行してきました。

(1) 全学新歓実行委員会・七夕祭実行委員会に対して、活動場所として自治会室を提供する、役員が実行委員として参加するなどといった協力を行ってきました。

(2) 入学式のクラブ紹介に関して調整を行いました。しかし、入学式当日は、天候悪化のため、当初の予定を変更し、各クラブの代表による簡単な紹介を行いました。

また、新歓時期にクラブなどに過度な勧誘活動を行なわないよう書面で通達を行いました。

【大学運営に関する活動】

学生自治会は、大学運営が大学執行部の意向のみで行われることのないよう、大学へ学生の声を届け、また、学生にそれらに関する情報を発信してきました。

- (1) 前年度の学域・学類制の導入に関して、学生に不具合が生じていないか情報収集を行い、確認しました。その結果、進級時の専攻選択の際、希望の専攻に進むことが難しいといった不都合がありました。
- (2) 大学の中長期の運営計画には学生に影響の大きな項目があるため、これらの運営計画を注視してきました。
- (3) 2013年1月18日に新大学構想会議より府大と市大の統合に関しての提言が出されました。

このように、変革が学生に十分な説明がないまま行われ、学生に不都合が生じることがあってはなりません。そこで、学生自治会は大阪府および大阪市のウェブサイトなどを通じて情報収集を行いました。そこで得られた情報は、『NASCA』などを用いて情報の発信を行いました。

【立て看板管理局】

- (1) 立て看板を安全かつ円滑に利用できるよう、立て看板の日頃の管理・運用を行いました。
- (2) 立て看板の場所割り会議を行ない、立て看板の設置場所の割り振りや、立て看板・ステージバックマニュアルの配布を行いました。また、利用団体に対して立て看板の講習会を行いました。
- (3) 5月14日に行われた、友好祭のフリーマーケット出展者会議にて、注意喚起のビラ配布を行うなど、立て看板を安全に運用するための対策を行いました。

【大型PA再購入実行委員会】

大型PA再購入実行委員会の構成団体として、大型音響機器の現状確認や次回の再購入が円滑に行われるよう話し合いを進めてきました。

【ステージ管理委員会】

学生自治会はステージ管理委員会の構成団体として、ステージの現状確認や再購入などに関する話し合い、ステージの管理業務、新歓時期のステージ利用の調整を行いました。